

第2回・第3回学生生活講習会「テーピング&ゲートキーパー講習会」

9月20日（金）に峰キャンパス大学会館多目的ホールにて、課外活動団体の次期リーダーを対象とする「サークルリーダー研修会」と併せて「テーピング講習会」と「ゲートキーパー講習会」を実施しました。

「サークルリーダー研修会」は、リーダーとしての見識を養い、課外活動の質の向上・発展を図ることを目的に毎年開催している研修会です。基盤教育センター石井和也准教授を講師として「リーダーの資質」についての講話を頂き、参加した65団体122名の学生たちは、グループディスカッションを通してリーダーシップについて積極的に意見交換を行いました。



続いて、第2回学生生活講習会「ゲートキーパー講習会」を実施しました。

ゲートキーパーとは、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）を図ることができる人のことで、「命の門番」とも言われます。

今回は宇都宮市保健所保健予防課を通して栃木県公認心理師協会の小久保麻紀事務局長を講師としてお招きし、身近な人の変化に気づき、声かけすることの重要性や相談を受けた場合の対応方法など、ゲートキーパーとしての心構えについて講話頂きました。



更に、第3回学生生活講習会「テーピング講習会」を実施しました。公益社団法人栃木県柔道整復師会から岡本博志先生、鈴木勝仁先生、瀬端邦章先生を講師としてお招きし、

運動中あるいは運動に限らずキャンプやハイキングなどの活動におけるケガ予防や再発防止のため、正しいテーピングの方法を学ぶための実習を行いました。



◆以上の講習会に参加した学生からは、次のような感想が寄せられました。

- ・リーダーの定義や良いリーダーになる方法、サークルの運営に必要なことを学ぶことができた。
- ・身近な人の異変に気付き、また、傾聴の姿勢など身近な人から相談を受けた際に、どのように対応すればよいかということについて学ぶことができた。
- ・部活動中もそうだが、日常生活においても実際にけがをした時に役立つ知識を実践的に学ぶことができた。
- ・今日学んだ内容を、今後のサークル運営などで活かしていきたい。